

# 糖尿病とは/ 気づいた時にはもう遅い!? 糖尿病の怖い合併症-糖尿病腎症-

講師  
 糖尿病・内分泌代謝内科 真山大輔医師  
 副院長/内科統括部長/  
 腎臓高血圧内科部長 佐藤英一医師



糖尿病・内分泌代謝内科  
真山 大輔医師

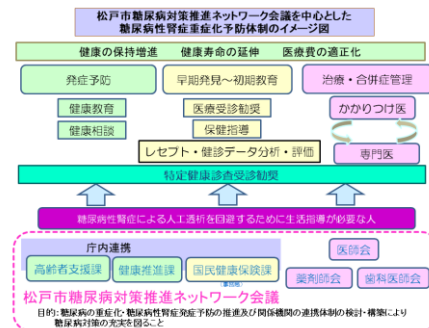


腎臓高血圧内科  
佐藤 英一医師

## 糖尿病の3大合併症

- 糖尿病の3大合併症は初期～中期では**自覚症状に乏しい**ため、症状がないから大丈夫という考えは非常に危険です。
- 糖尿病の3大合併症は最終的に**下肢切断、失明、透析**等に至る事があります。
- 糖尿病の3大合併症は突然出現するわけではなく、**糖尿病のコントロールが長期に渡り不良**な人に発症します

早い段階からしっかり治療をすれば  
糖尿病の3大合併症は防ぐことができます



## 【講演内容】

糖尿病も腎臓病も、自覚症状が出るころには病状がかなり進んだ状態であり、様々な合併症を引き起こす病気です。病気の予防はもちろん大切ですが、病気になってしまった後にどう治療を進めていくかが、日常生活を送る上で重要となります。

本講演会では、前半を糖尿病・内分泌代謝内科 真山（さのやま）大輔医師が糖尿病全般のお話を、後半は腎臓高血圧内科 佐藤英一医師が腎臓病全般のお話に加え、糖尿病の合併症の一つである「糖尿病腎症」に焦点を当ててお話ししました。

講演の最後は「患者さんにとって大切なのは受診していただくこと。継続して病院にかかってもらえれば、重症化を防ぐためにできることがある。」という両医師からのメッセージで締めくくられました。

健康診断で引っかかったなど、少しでも糖尿病、腎臓病の発症や進行が気になる方はお早めに医療機関を受診しましょう。

※糖尿病内科の受診を希望される方は事前に一度当院までご連絡ください。☎ 047-345-1111(代)